

スリランカ民主社会主义共和国
首都.....スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ
面積.....約6.6万km²（北海道の約0.8倍の広さ）
人口.....約1,873万人（2001年）
政体.....共和制
宗教.....仏教、ヒンズー教など
元首.....C・B・クマーラトゥンガ大統領



from the world
世界の国
から
スリランカ
民主社会主义共和国
Democratic Socialist Republic of Sri Lanka



ソフトウェア開発を柱に投資拡大を図る



南部のウェリガマ地方でよくみられるストルト・フィッシング（海中に立てた杭につかまって行う漁）

ソフトウェア開発に重点をおく

スリランカといえば「紅茶」が有名ですし、産業も以前は紅茶、米、ゴム、ココナッツなどの農業を中心でした。しかし、最近では工業化が進み、特にアパレル（衣類の縫製）が輸出品目の第1位となるなど、主要産業として成長しています。

また、隣国のインド同様、IT産業もとても盛んです。中でも力をいれているのがソフトウェア開発部門で、非常に優秀なエンジニアが大勢いることもあり、すでに日本のソフトウェア会社が3社進出しています。

今回の滞在中（9月9日から11月8日）に日本の企業向けにプロモーションする案件の中にも、ソフトウェア開発関連の案件が多数含まれています。

東京など3カ所で投資セミナーを開催

今年は、日本とスリランカの国交樹立50周年ということで記念行事が日本各地で行われ、それに合わせて「スリランカ投資セミナー」が福岡、東京、大阪の3カ所で開催されました。

2度目の来日（前回：1996年）時に東京で開催したセミナーと比べると、参加者も平均で100名と大幅に増え、さらに詳しい情報を求められるなど大盛況でした。

また、現在スリランカに進出している日本企業は65社ほどですが、今回のセミナーではそうした企業の方からも話をいただきました。

安全なスリランカをアピール

2001年のスリランカ経済は、独立後初めてのマイナス成長となりました。その原因の一つは、7月に起きた「タミル・伊拉ム解放の虎（LTTE）によるコロンボ国際空港襲撃事件です。

シンハラ人とタミル人との間に起きた民族対立による内戦は95年以降特に激しくなり、スリランカ経済に大きな打撃を与えてきました。

しかし、2002年2月、ようやく政府とLTTEが停戦に合意し、9月中旬には、タイでノルウェー政府の仲介のもと、和平交渉が行われるなど治安も安定してきています。

そのため、今回の滞在では、特に

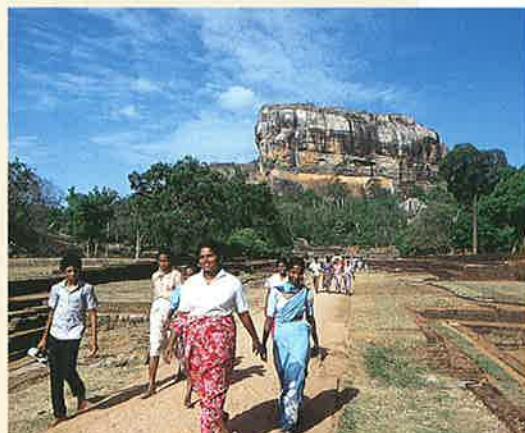
不安を感じている日本の中小企業の方に「スリランカは安全な国」とアピールすることも大きな目的でした。

さらに積極的なプロモーション展開を

今回、セミナーや個別の商談を通して、日本の企業からとてもいい感触を得られました。また、危険だといったイメージもだいぶ払拭することができたと思いますので、今後は今まで以上に積極的にプロモーションを展開していくつもりです。

また、スリランカは多くの世界遺産があるなど、観光資源も豊富ですから、ぜひ一度、日本の企業の方にスリランカに足を運んでもらいたい。そうすれば、必ずこの国の良さをわかってもらえると思います。

C・イグネシアス
スリランカ投資庁
投資促進担当シニア・マネージャー
Mr. C. Ignatius
Senior Manager (Promotion)
Board of Investment (BOI)



世界遺産の1つシーギリアロック
(写真は2点ともスリランカ政府観光局提供)